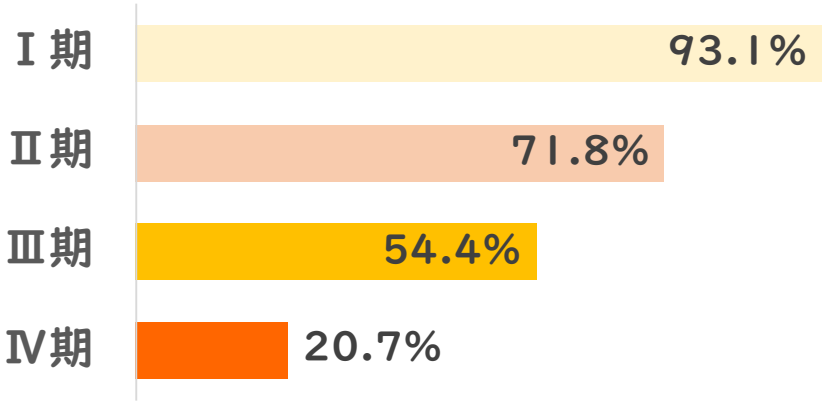
子宮頸がん検診で「要精密検査」となった方へ

一生涯のパートナー
第一生命
Dai-ichi Life Group

子宮頸がんの多くは自覚症状がありませんので、「要精密検査」と判定された場合には
必ず精密検査を受けてください。
精密検査を受けないと、がん検診の効果はなくなってしまいます。

早期発見
早期治療で
9割以上
が治ります

子宮頸がん10年相対生存率



【子宮頸がんの精密検査】

・「コルポスコピー（膣拡大鏡診）」、「組織検査」、「ヒトパピローマウィルス検査」などがあります。医療機関により内容が異なる場合があります。

・要精密検査となった方の中で、がんが発見される確率は約2%、前がん病変（CIN以上）が発見される確率は約30%※です。前がん病変のうちに発見・対処できれば、治療による体への負担やかかる時間、費用も少なくてすみます。 ※厚生労働省「平成27年度地域保健・健康増進事業報告」

＜精密検査の際には以下のものを忘れずにご持参ください＞

- 子宮頸がん検診結果通知書
- 子宮頸がん精密検査依頼書（あれば）
- マイナ保険証等（健保の資格確認ができるもの）

令和３（2021）年 12 月 国立研究開発法人 国立がん研究センター
がん対策研究所 がん登録センター院内がん登録 2009 年 10 年生存率集計